

# 附属やまぐち学園だより

やまぐち学園教育目標:発見し、はぐくみ、かたちにする学びの広場  
めざす人間像:よりよい未来を共に創り出す人間

第3号 2026年3月5日(木)

山口大学教育学部附属幼稚園

〒753-0070 山口市白石三丁目1番2号 TEL 083-933-5960

山口大学教育学部附属山口小学校

〒753-0070 山口市白石三丁目1番1号 TEL 083-933-5950

山口大学教育学部附属山口中学校

〒753-0070 山口市白石一丁目9番1号 TEL 083-922-2824

## 別れの季節の言葉「さようなら」

山口大学教育学部附属山口中学校長 前原隆志

卒業、転勤など、3月は別れの季節です。学校では、下校前の子ども達と先生との間で、「さようなら」という言葉が交わされます。

言語学者の竹内整一先生によれば、語源である「さようならば」や「さらば」は、「左様であるならば」「さ、あらば」という意味の接続詞だそうです。「これまでのことを受け、これからのことが起きる。」そんな接続詞が、別れ言葉として自立し、「さようなら」になりました。あなたと私がともに生きてきたことを振り返り、今、分かれなければならないという現実を前にして、「そういうことなら」と告げて、次のステージに向かう。この先どうなるのかは、私にもあなたにも分からない。けれど、もしかしたらこの先もつながっていけるかも知れない、そんな祈りが込められた言葉です。少し奇妙な言葉遣いですが、そうやって平安の昔から人々は別れてきました。今の子ども達は、同じ意味をもつ言葉として、「じゃあね」もよく使っています。

夕方の学校からの帰り道、交差点での子ども達のあいさつでは、「バイバイ」という言葉もよく耳にします。こちらは16世紀後半に使われ始めた「God be with you(神があなたとともにありますように)」が語源だそうです。相手の安全や幸せを祈る意味が込められています。

別れの言葉には、次の出会いに向かって背中を押してくれる独特の余韻があるようです。桜咲く春に、子ども達が思い思いの道に向かって、元気よく笑顔で歩き出すことを祈っています。

### 【附属幼稚園】

年長児が4月からの学校生活を少しでもイメージでき、安心して就学できるように、1年生の授業を参観しました。前半は算数の座学中心の授業、後半は体育の活動中心の授業と、形態の異なる授業を見ました。算数の授業では、1年生がノートに書く姿や、手を挙げて発表する姿、教室の掲示物や教科書などに興味をもって見入る様子がありました。体育では、跳び箱や縄跳びを一緒にさせてもらい、1年生や小学校の先生に優しく教えてもらったり褒めてもらったりしながら、「やってみよう」と取り組んだり、嬉しそうにしている姿がありました。年長児からは、「前に出て説明していてすごかった」「数字を使っていて賢いなと思った」「跳び箱が階段みたいに3つつながっていて、小学生が真ん中まで跳んでいた」「幼稚園と違って体育館が大きかった」などの声が聞かれ、1年生への憧れや、幼稚園との違いに気付く姿が見られました。中間休みには、鬼ごっこをしたり遊具で遊ばせてもらったりし、遊具の大きさや高さに驚く様子もありました。「まだ遊びたい!」という声も多く聞かれ、小学校生活を楽しみにする気持ちがさらに高まった一日となりました。



## 【附属山口小学校】

1月に行われたフレンドリータイムでは、最高学年である6年生の温かなリーダーシップが輝きました。6年生が自分たちで遊びを考え、下級生全員が楽しめるような工夫を凝らしてくれた時間は、下級生の子どもたちの心に大切な記憶として刻まれています。校庭で元気に走り回る鬼ごっこや、教室で知恵を出し合うクイズ。どの班からも弾むような笑い声が聞こえてきたのは、6年生が下級生の目線に立って優しく言葉をかけ、場を盛り上げてくれたからです。卒業を前に、6年生が示した頼もしい背中には、下級生たちにとって大きな憧れとなりました。この1年間で育まれた相手を感じる心は下級生たちへとしっかり引き継がれていきます。



2月には、6年生が「平和」に係る学習として広島を訪れました。原爆ドームを仰ぎ、静かに手を合わせる子どもたちの背中には、歴史の事実を真正面から受け止めようとする、凜とした強さを感じられました。平和記念資料館の見学や語り部の方の講話を通して彼らが心に刻んだのは、「当たり前の日常がいかに尊いか」という感謝と、「自分たちの手で、争いのない未来を創りたい」という強い決意です。平和とは、決して遠い場所の話ではなく、身近な人を大切にすることから始まります。広島で受け取った重いバトンを胸に、子どもたちは今、学園をめざす「よりよい未来を共に創り出す人間」として、希望に満ちた一歩を踏み出そうとしています。



## 【附属山口中学校】

12月16日（火） 中学2年生がキャリア教育の一環として、KDDI 維新ホールで開催された「やまぐち 未来のしごとフェスタ」に参加しました。40社を超える地元企業のブースを回り、様々な仕事について、体験を交えながら学びました。専門家の知識や技術、そして仕事への情熱を目の前で見聞きしたことで、将来の進路への意識が高まりました。



1月9日（金） 中学3年生が国語科の授業で、書き初め大会を行いました。各自が今年の抱負を筆に込め、力強く書き出しました。受験、そして進学のを迎えた3年生。自身の成長を願う言葉や、努力や決意を表す言葉が並びました。書き初めの言葉を体現しようと、意欲的に学校生活を送る3年生の姿を、後輩たちが追いかけています。



1月27日（火） 中学1年生が学年レクリエーションとして、クラスマッチ「アルティメット」を行いました。（アルティメットとは、フライングディスクを使用した団体競技です。バスケットボールとアメリカンフットボールを合わせたようなルールで行われます。）各クラス、とても楽しそうな様子で、一生懸命グラウンドを駆け回る姿が見られました。



今年度も、学年や学校全体で様々な行事が行われ、それらを通して生徒たちは大きく成長しました。来年度も、やまぐち学園ならではの経験を、沢山積んでほしいと思います。